

結果の概要

1 就業保健師・助産師・看護師・准看護師

(1) 就業保健師等の年次推移

平成24年末現在の就業保健師（以下「保健師」という。）は47,279人（男730人、女46,549人）で、前回（平成22年）に比べ2,251人（5.0%）増加している。

就業助産師（以下「助産師」という。）は31,835人で、前回に比べ2,163人（7.3%）増加している。

就業看護師（以下「看護師」という。）は1,015,744人（男63,321人、女952,423人）で、前回に比べ63,021人（6.6%）増加している。

就業准看護師（以下「准看護師」という。）は357,777人（男23,148人、女334,629人）で、前回に比べ10,371人（2.8%）減少している。（表1）

表1 就業保健師等の年次推移

（単位：人）

各年末現在

	平成14年 (2002)	16年 (’04)	18年 (’06)	20年 (’08)	22年 (’10)	24年 (’12)	対平成22年	
	実人員(人)						増減数	増減率(%)
保健師	38 366	39 195	40 191	43 446	45 028	47 279	2 251	5.0
男	189	281	341	447	582	730	148	25.4
女	38 177	38 914	39 850	42 999	44 446	46 549	2 103	4.7
助産師 ¹⁾	24 340	25 257	25 775	27 789	29 672	31 835	2 163	7.3
看護師	703 913	760 221	811 972	877 182	952 723	1 015 744	63 021	6.6
男	26 160	31 594	38 028	44 884	53 748	63 321	9 573	17.8
女	677 753	728 627	773 944	832 298	898 975	952 423	53 448	5.9
准看護師	393 413	385 960	382 149	375 042	368 148	357 777	△10 371	△ 2.8
男	22 726	22 838	23 462	23 268	23 196	23 148	△ 48	△ 0.2
女	370 687	363 122	358 687	351 774	344 952	334 629	△10 323	△ 3.0
	構成割合(%)							
保健師	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
男	0.5	0.7	0.8	1.0	1.3	1.5		
女	99.5	99.3	99.2	99.0	98.7	98.5		
看護師	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
男	3.7	4.2	4.7	5.1	5.6	6.2		
女	96.3	95.8	95.3	94.9	94.4	93.8		
准看護師	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
男	5.8	5.9	6.1	6.2	6.3	6.5		
女	94.2	94.1	93.9	93.8	93.7	93.5		
	人口10万対							
保健師	30.1	30.7	31.5	34.0	35.2	37.1		
男	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	0.6		
女	30.0	30.5	31.2	33.7	34.7	36.5		
助産師 ¹⁾	19.1	19.8	20.2	21.8	23.2	25.0		
看護師	552.4	595.4	635.5	687.0	744.0	796.6		
男	20.5	24.7	29.8	35.2	42.0	49.7		
女	531.8	570.6	605.7	651.8	702.0	746.9		
准看護師	308.7	302.3	299.1	293.7	287.5	280.6		
男	17.8	17.9	18.4	18.2	18.1	18.2		
女	290.9	284.4	280.7	275.5	269.4	262.4		

注：1)「助産師」は、女のみ。

(2) 就業場所別にみた就業保健師等

就業場所別に実人員をみると、保健師は「市町村」が26,538人（構成割合56.1%）と最も多くなっている。助産師、看護師及び准看護師は「病院」が最も多く、それぞれ20,784人（65.3%）、747,528人（73.6%）、158,315人（44.2%）となっている。

常勤換算数をみると、保健師は「市町村」が24,918.2人（55.8%）と最も多くなっている。助産師、看護師及び准看護師は「病院」が最も多く、それぞれ20,077.6人（68.6%）、721,016.0人（76.7%）、147,743.3人（46.6%）となっている。（表2）

表2 就業場所別にみた就業保健師等（実人員・常勤換算）

平成24年末現在

	保健師		助産師		看護師		准看護師	
	実人員	常勤換算	実人員	常勤換算	実人員	常勤換算	実人員	常勤換算
	実人員・常勤換算（人）							
総数	47 279	44 631.9	31 835	29 247.6	1 015 744	940 483.8	357 777	317 030.1
病院	3 019	2 897.5	20 784	20 077.6	747 528	721 016.0	158 315	147 743.3
診療所	1 661	1 549.8	6 663	5 634.3	125 782	100 594.5	116 510	98 541.0
助産所	1	0.5	1 742	1 586.7	60	43.2	47	29.8
訪問看護ステーション	250	216.1	9	7.2	30 225	24 767.9	3 165	2 500.1
介護保険施設等 ¹⁾	379	352.9	2) ...	2) ...	62 495	51 896.5	64 841	55 904.0
社会福祉施設	409	380.7	12	9.0	13 737	11 630.4	9 229	7 968.6
保健所	7 457	7 177.0	307	151.9	1 028	545.2	65	32.4
市町村	26 538	24 918.2	717	307.1	6 795	4 295.1	1 347	815.2
事業所	4 119	3 891.4	39	25.3	6 482	5 619.5	1 625	1 307.1
看護師等学校養成所 又は研究機関	1 119	1 072.8	1 414	1 351.2	14 664	14 156.2	29	24.3
その他	2 327	2 175.0	148	97.3	6 948	5 919.3	2 604	2 164.3
	構成割合（%）							
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
病院	6.4	6.5	65.3	68.6	73.6	76.7	44.2	46.6
診療所	3.5	3.5	20.9	19.3	12.4	10.7	32.6	31.1
助産所	0.0	0.0	5.5	5.4	0.0	0.0	0.0	0.0
訪問看護ステーション	0.5	0.5	0.0	0.0	3.0	2.6	0.9	0.8
介護保険施設等 ¹⁾	0.8	0.8	2) ...	2) ...	6.2	5.5	18.1	17.6
社会福祉施設	0.9	0.9	0.0	0.0	1.4	1.2	2.6	2.5
保健所	15.8	16.1	1.0	0.5	0.1	0.1	0.0	0.0
市町村	56.1	55.8	2.3	1.1	0.7	0.5	0.4	0.3
事業所	8.7	8.7	0.1	0.1	0.6	0.6	0.5	0.4
看護師等学校養成所 又は研究機関	2.4	2.4	4.4	4.6	1.4	1.5	0.0	0.0
その他	4.9	4.9	0.5	0.3	0.7	0.6	0.7	0.7

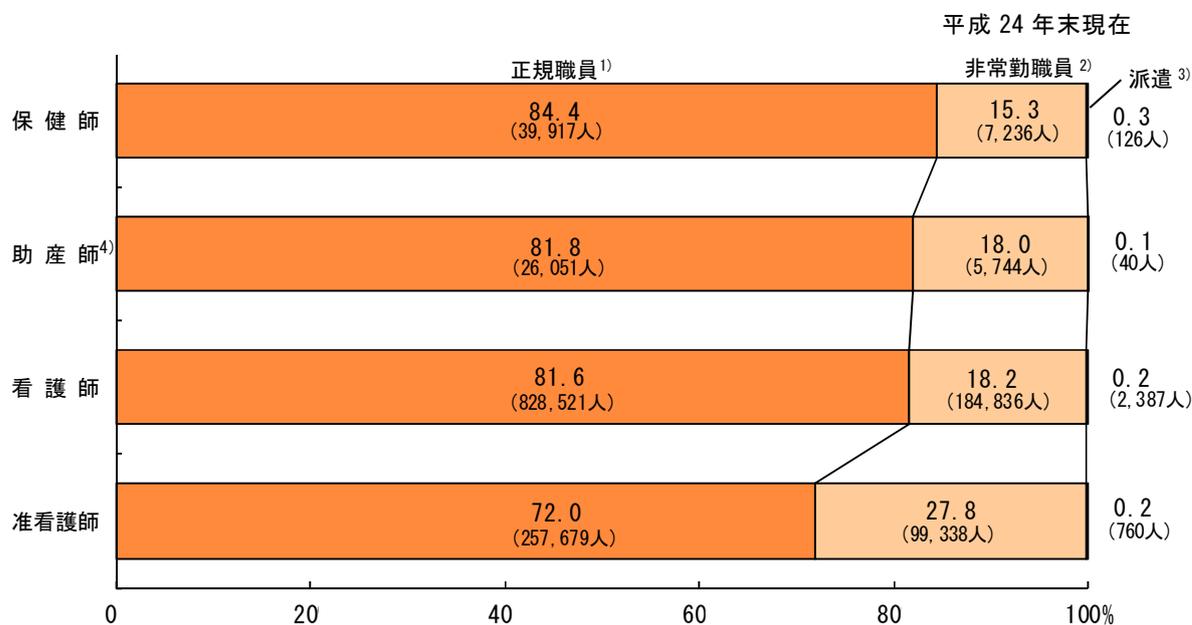
注：1) 「介護保険施設等」とは、「介護老人保健施設」、「指定介護老人福祉施設」、「居宅サービス事業所」及び「居宅介護支援事業所」をいう。

2) 「助産師」は、「介護保険施設等」について調査していない。

(3) 雇用形態別にみた就業保健師等

雇用形態別にみると、保健師、助産師、看護師及び准看護師のいずれも「正規職員」が最も多く、保健師は 39,917 人（構成割合 84.4%）、助産師は 26,051 人（81.8%）、看護師は 828,521 人（81.6%）、准看護師は 257,679 人（72.0%）となっている（図 1）。

図 1 雇用形態別にみた就業保健師等



注：括弧内は実人員である。

- 1) 「正規職員」とは、施設が直接雇い入れた者であって、施設が定めた所定労働時間をすべて勤務する者であり、契約期間が限定されていない者をいう。
- 2) 「非常勤職員」とは、名称に係わらず、「正規職員」及び「派遣」に該当しない者をいう。
- 3) 「派遣」とは、派遣会社から派遣されている者をいう。
- 4) 「助産師」は、助産所開設者を含む。

(4) 年齢階級別にみた就業保健師等

年齢階級別にみると、保健師及び看護師は「35～39 歳」が最も多く、保健師は 7,393 人（構成割合 15.6%）、看護師は 162,961 人（16.0%）となっている。一方、助産師は「25～29 歳」5,204 人（16.3%）、准看護師は「50～54 歳」58,115 人（16.2%）が最も多くなっている。（表 3）

表 3 年齢階級別にみた就業保健師等

平成 24 年末現在

	保健師		助産師		看護師		准看護師	
	実人員(人)	構成割合(%)	実人員(人)	構成割合(%)	実人員(人)	構成割合(%)	実人員(人)	構成割合(%)
総数	47 279	100.0	31 835	100.0	1 015 744	100.0	357 777	100.0
25歳未満	1 581	3.3	1 963	6.2	82 947	8.2	9 363	2.6
25～29歳	5 972	12.6	5 204	16.3	141 931	14.0	16 674	4.7
30～34	7 191	15.2	4 860	15.3	150 282	14.8	28 568	8.0
35～39	7 393	15.6	4 711	14.8	162 961	16.0	40 185	11.2
40～44	6 863	14.5	4 475	14.1	144 616	14.2	45 994	12.9
45～49	6 676	14.1	3 875	12.2	123 806	12.2	52 835	14.8
50～54	5 586	11.8	2 962	9.3	97 916	9.6	58 115	16.2
55～59	3 779	8.0	1 886	5.9	65 717	6.5	47 213	13.2
60～64	1 628	3.4	1 137	3.6	32 205	3.2	39 760	11.1
65歳以上	610	1.3	762	2.4	13 363	1.3	19 070	5.3

(5) 都道府県別にみた人口10万対就業保健師等

都道府県別に人口10万人あたりの保健師数をみると、「長野県」が69.5と最も多く、次いで「山梨県」が68.1、「島根県」が65.3となっている。一方、「神奈川県」が21.7と最も少なく、次いで「埼玉県」が23.8、「大阪府」が25.8となっている。（図2）

人口10万人あたりの助産師数をみると、「島根県」が37.1と最も多く、次いで「長野県」が36.2、「鳥取県」が33.8となっている。一方、「埼玉県」が17.7と最も少なく、次いで「千葉県」及び「三重県」が19.5となっている。（図3）

図2 人口10万対就業保健師
平成24年末現在

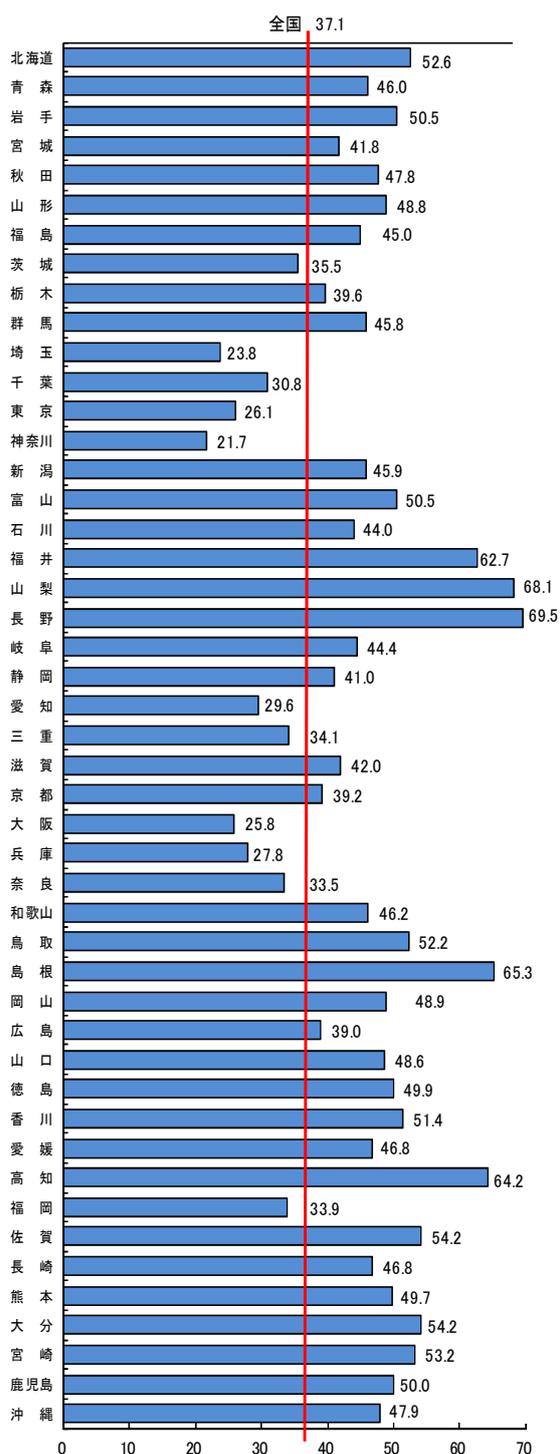
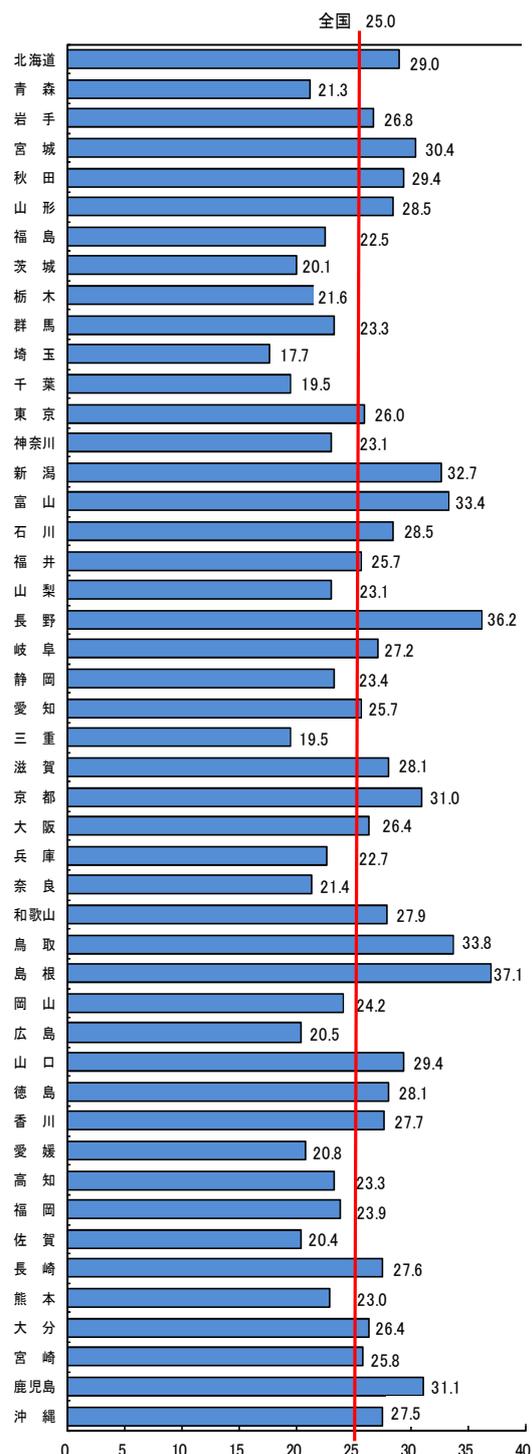


図3 人口10万対就業助産師
平成24年末現在



人口10万人あたりの看護師数をみると、「高知県」が1,222.9と最も多く、次いで「鹿児島県」が1,140.5、「長崎県」が1,111.2となっている。一方、「埼玉県」が528.4と最も少なく、次いで「千葉県」が572.0、「神奈川県」が625.1となっている。（図4）

人口10万人あたりの准看護師数をみると、「鹿児島県」が633.7と最も多く、次いで「宮崎県」が628.9、「佐賀県」が575.0となっている。一方、「東京都」が116.2と最も少なく、次いで「神奈川県」が119.8、「滋賀県」が139.0となっている。（図5）

図4 人口10万対就業看護師
平成24年末現在

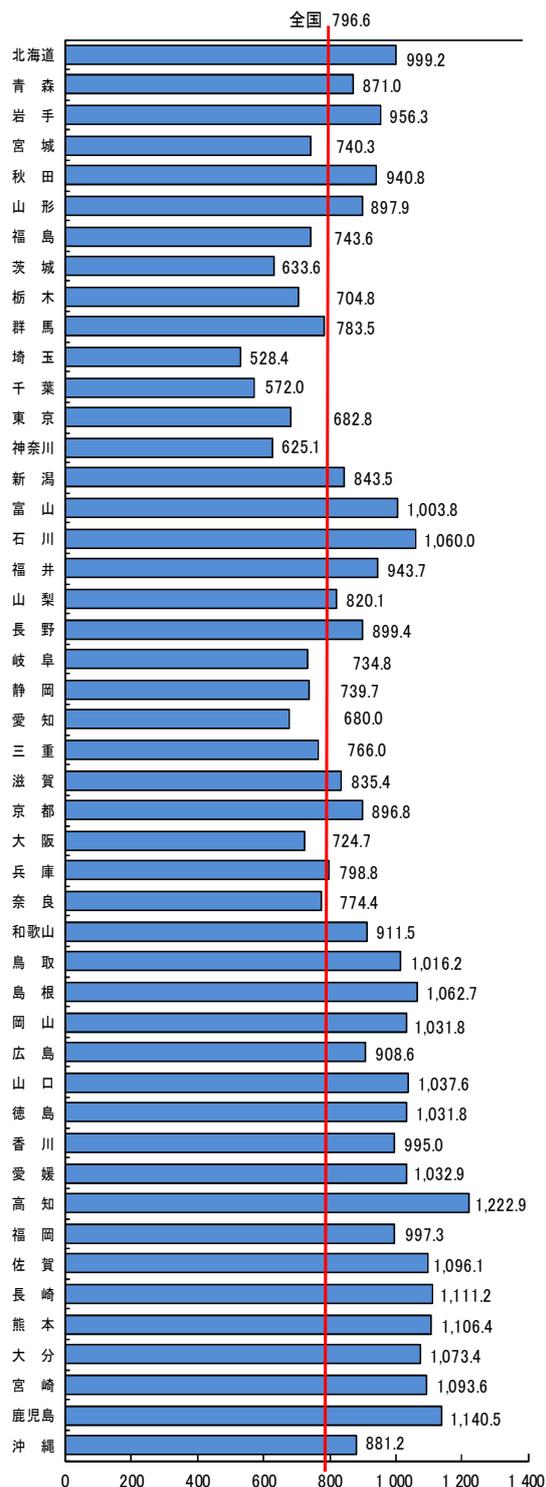


図5 人口10万対就業准看護師
平成24年末現在

